

# 令和6年度 事業報告書

令和6年4月1日から

令和7年3月31日まで

学校法人今村学園

## 1. 法人の概要

名称 学校法人 今村学園（昭和 26 年 9 月 19 日法人設立）  
代表者 理事長 瀧本 一慶  
住所 高槻市高槻町 3 番 1 6 号  
電話 072-685-0247  
F A X 072-683-3685  
HP <https://www.imamura-gakuen.ed.jp/>

### 設置する施設名

- ① 名称 幼保連携型認定こども園 いまむらこどもえん／園長：岡田美保  
住所 高槻市高槻町 3 番 16 号  
電話 072-685-0247  
F A X 072-683-3685
- ② 名称 小規模保育園 necco きたその／施設長：向畑真希  
住所 高槻市北園町 2 番 22 号  
電話 072-668-2751  
F A X 072-668-2752
- ③ 名称 小規模保育園 necco たかつき／施設長：橋本紀子  
住所 高槻市高槻町 6 番 3 号  
電話 072-669-9907  
F A X 072-669-9908

### 役員

理事 5 名  
監事 2 名  
評議員 11 名  
理事会 4 回開催  
評議員会 4 回開催  
職員 81 名（内常勤 50 名） ボランティア 1 名（2025.3 月末日）

## 2. 事業概要

### 《理念》

乳幼児期の保育、教育は小学校の予備ではありません。  
教えるのではなく育てるのです。適切な養護を加え、伸び伸びとした生活を与えること、無理のない  
躰け方によって良い習慣を体得させ、人格教育の素地を作ります

### 《保育・教育目標》

生きること、学ぶことの 根っこを育てる

### 《めざす子ども像》

いのちを大切にする子ども

### 《保育・教育方針》

・自然に触れていろいろなことを感じる心身を育てる

- ・本当のことを知ろうとする意欲を育てる
- ・素直に表現し、創造する喜びを育む
- ・友だちを大切に思う心を育てる

《園児数》2025.3 月末

いまむらこどもえん定員 1号認定子ども 48名 2号認定子ども 99名  
3号認定子ども 48名 計 195名

|    | R6 年度 | クラス数            |
|----|-------|-----------------|
| 0才 | 9     | 1               |
| 1才 | 18    | 1               |
| 2才 | 24    | 1               |
| 3才 | 54    | 異年齢<br>クラス<br>6 |
| 4才 | 55    |                 |
| 5才 | 51    |                 |
| 合計 | 211   | 9               |

necco きたその 定員 0歳児 3名 1歳児 8名 2歳児 8名 計 19名

|    | R6 年度 | クラス数 |
|----|-------|------|
| 0才 | 4     | 1    |
| 1才 | 9     | 1    |
| 2才 | 9     | 1    |
| 合計 | 22    | 3    |

necco たかつき 定員 0歳児 3名 1歳児 8名 2歳児 8名 計 19名

|    | R6 年度 | クラス数 |
|----|-------|------|
| 0才 | 4     | 1    |
| 1才 | 9     | 1    |
| 2才 | 9     | 1    |
| 合計 | 22    | 3    |

《保育時間》

1号認定こども 月～金曜日 午前8時30分～午後2時00分(～午後3時半)

2・3号認定こども 月～土曜日 午前7時00分～午後7時00分

《公定価格》

利用者負担金 1・2号認定こども 保育料無償

3号認定こども 高槻市で定められた額

《教育充実費》

1号認定子ども 3歳児 月額 13,000円 4・5歳児 月額 15,000円

2号認定子ども 3歳児 月額 14,000円 4・5歳児 月額 16,000円

《実費徴収》

- 1号 主食費 2,000 円/月+副食費 4,500 円/月+おやつ代 900 円/月=合計 7,400 円/月  
2号 主食費 2,500 円/月+副食費 5,600 円/月+おやつ代 1,600 円/月=合計 9,700 円/月  
3号 午睡用コットリース 800 円/月、エプロン・おしぼりリース代 200 円/月、布おむつ 4,600 円/月  
(0歳児)

《その他の費用》

- 検定料(幼児) : 7,000 円 (連携園 5,000 円) 進級・入園受入準備費 (幼児) 50,000 円  
入園時購入 : 個人持ち用品・被服代 (幼児) 約 17,000 円

《一時預り保育料金》

- 1号認定こども (利用については回数の制限あり、新 2号常時利用児については制限なし)

月・火・木・金

|      |                 |            |
|------|-----------------|------------|
| 午前の部 | 午前 7 時～8 時 10 分 | 5 円/分      |
| 午後の部 | 午後 4 時～6 時      | 150 円/30 分 |
|      | 午後 6 時～7 時      | 300 円/30 分 |

水曜日など半日保育日

- 午前 11 時 30 分～午後 6 時 150 円/30 分  
以後上記に同じ 長期休暇の預かり保育もあり

《延長保育料金》

- 2号認定こどもはそれぞれ認定された時間以降

■ 保育短時間 (8 時間認定) の場合

|      |            |        |
|------|------------|--------|
| 午前の部 | 午前 7 時～8 時 | 5 円/分  |
| 午後の部 | 午後 4 時～6 時 | 5 円/分  |
|      | 午後 6 時～7 時 | 10 円/分 |

■ 保育標準時間 (11 時間認定) の場合

|      |            |        |
|------|------------|--------|
| 午後の部 | 午後 6 時～7 時 | 10 円/分 |
|------|------------|--------|

- 3号認定こどもはそれぞれ認定された時間以降

■ 保育短時間 (8 時間認定) の場合

|      |            |        |
|------|------------|--------|
| 午前の部 | 午前 7 時～8 時 | 7 円/分  |
| 午後の部 | 午後 4 時～6 時 | 7 円/分  |
|      | 午後 6 時～7 時 | 15 円/分 |

■ 保育標準時間 (11 時間認定) の場合

|      |            |        |
|------|------------|--------|
| 午後の部 | 午後 6 時～7 時 | 15 円/分 |
|------|------------|--------|

《未就園児親子クラス日時》

- まめっちょくらぶ

毎週火曜日 10 時～11 時 (4・8 月は除く)

## 《行事実施状況》

園外保育、畠活動、園庭・原の田おこし・田植え・収穫、七夕の集い、おはなわくわく会、うんどうの日、いまむらふぁみりー！、クリスマス会、餅つき、耐寒登山、節分の集い歌とリズムと朗読の会、卒園式等

## 《施設関係》

園舎面積 1, 837. 63㎡

園庭面積 731. 53㎡

## 《設備関係及び事業内容》

いまむらこどもえん園舎3階屋上庭園のタイル敷設、排水路を整備し、水遊び、絵の具遊び、草木染めなどがしやすいように整えた。

ホールの音響システムを改修し、各種集会、行事などがスムーズに行えるように整備した。

関係各機関、地域の皆さまにご協力いただき原での新拠点取得について準備を進めたが諸事情により取得・整備が叶わず、今後新たな方策を探ることとなった。

## 各種90周年記念事業を実施

2024年5月12日(日)高槻城公園芸術劇場トリシマホールにて創立90周年記念式典を挙行  
J:comによる記念番組の制作・放映し、内外に理念や保育内容をお知らせすることができた。

卒園生の今をテーマに4名の卒園生の方のインタビューを実施し『おひさしぶり新聞』として発行。  
在園のこどもたちにインタビューし『いまむらのこどもたちに聞いてみた。』という冊子にまとめ、発行。

保護者も保育者も子どもを真ん中に、共に育ち合う関係を強くし、毎日を楽しもうという趣旨で、新しい保護者会のかたち『いまむらふぁみりー！』と題し、様々な活動、ワークショップなどを企画し、たくさんの保護者の参加を得た。

保護者主催のリサイクルマーケットが盛大に実施された。

## ＜いまむらこどもえん＞

幼児クラスでは異年齢保育4年目となり、遊びや生活の中での様々な活動を通し、ゆっくり、しっかり育ち合うこと、子どもたちの話し合いで物事を進めることができるよう配慮した。

引き続き、高槻の里山、原地区において自然の中で活動し、様々な自然の美しさや驚きに触れ、表情や言葉、絵に表すことを通して友達や保育者と共感することを大切にしたい。

原では米・さつまいもを、園の田畠においては米・大豆をクラスで責任をもって栽培した。しかし、近年原地区は獣害に悩まされており、さつまいもはイノシシに、米は鹿に大部分が食害を受け、収穫量が減少した。子どもたちには、野生の動植物との共生を考える良い機会とした。

子どもたちだけではなく、広く保護者の方にも各種保育活動への参加を呼びかけ、子どもたちの感じたことを追体験していただき、保育・教育内容への理解を深めることができた。

安心と安全をより確かなものにするため、事故防止のマニュアルの整備に努めた。

乳児は育児担当保育により、個々の育ちをじっくり見ながら必要な援助をし、穏やかに

毎日を過ごすことができた。

また、乳・幼・施設間の担任の交流を図り、保育内容の相互理解に努めた。

わらべうたプロジェクトチームを立ち上げ、0～5歳までの日常の活動として、共通のプログラムを月ごとに動画などで配信・提示し積極的にわらべうたを取り入れることとした。

子育て支援については、5月下旬より園庭開放まめっちょを再開し、多くの親子の来園者に対応し、子育て相談を受けるなどした。

一般を対象に乳児、幼児とも園の見学会を実施し、多くの来園者（乳児約100名、幼児約80名）に保育の状況や園舎内外の見学、保育教育方針などをお伝えすることができた。

在園の保護者に関しては担任や園長およびキンダーカウンセリングを利用していただくなど随時疑問点や様々な相談に応じ、子育ての悩みの共有、軽減に寄与した。

<小規模保育園 necco きたその・たかつき >

今村学園の保育理念のもと無事一年を終えることができた。

いまむらこどもえん乳児クラスとも連携を取り、情報交換を密にすることによって、安心安全な保育環境の構築に努めた。また、乳・幼・施設間の担任の交流を図り、保育内容の相互理解に努めた。

<まとめ>

保育・教育内容の発信として、クラスだより、園だより、Instagram、幼児では行事に向けての期間限定の写真・動画共有アプリでの発信をする等、工夫した。

安全な環境の整備を目指し、様々なマニュアルの見直しを図り、職員間で共有した。

90周年を記念し、各種事業を通し、変わらないこと、変えるべきことを明確にし100周年に向け、さらに充実した保育教育内容としていきたい。

今後も、小規模保育園 necco きたその、necco たかつき、いまむらこどもえんが一体となり、様々な活動を通し、どの施設、どの年齢の子どもも、身体で感じ、考え、自ら動くことができるよう、保護者や保育者も共に協力し合って過ごしてゆけるよう環境を整えたい。

子ども家庭庁の『はじめの100か月の育ちビジョン』でも提言されているが、今後ますます、保護者への切れ目のない支援が必要となって来ており、安心して子育てに取り組むことができる環境、人と人を繋ぐことができる場が必要とされている。いまむらファミリーの活動や集まりで、子どもを真ん中に、保護者と園、保護者同士をつなぎ、共に成長してゆける場ができつつあることはとても意義深いことである。

プロジェクトチームを中心にわらべうた、0歳から5歳まで、そして就学に向けての切れ目のない保育・教育、内容について、改めて明文化する必要があると考える